



2022年7月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年9月12日

上場会社名 株式会社ベストワンドットコム

上場取引所 東

コード番号 6577 URL <http://www.best1cruise-corp.info/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 澤田秀太

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 国門量祐

TEL 03-5312-6247

定時株主総会開催予定日 2022年10月26日

有価証券報告書提出予定日 2022年10月26日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年7月期の連結業績(2021年8月1日～2022年7月31日)

(1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2022年7月期	246	193.8	187		177		218	
2021年7月期	83	92.5	138		133		130	

(注) 包括利益 2022年7月期 219百万円 (％) 2021年7月期 128百万円 (％)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2022年7月期	164.70		40.0	7.8	76.0
2021年7月期	104.86		21.2	5.3	165.1

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2022年7月期	2,250	530	23.5	397.11
2021年7月期	2,306	561	24.3	449.36

(参考) 自己資本 2022年7月期 529百万円 2021年7月期 561百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年7月期	144	53	8	1,390
2021年7月期	136	63	194	1,571

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2021年7月期		0.00		0.00	0.00	0		
2022年7月期		0.00		0.00	0.00	0		
2023年7月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2023年7月期の連結業績予想(2022年8月1日～2023年7月31日)

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、現時点において業績予想を数値で示すことが困難な状況となっているため、2023年7月期の業績予想を未定といたします。合理的な予測が可能となった時点で公表いたします。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年7月期	1,346,160 株	2021年7月期	1,263,360 株
期末自己株式数	2022年7月期	13,741 株	2021年7月期	13,741 株
期中平均株式数	2022年7月期	1,324,577 株	2021年7月期	1,241,962 株

(参考)個別業績の概要

2022年7月期の個別業績(2021年8月1日～2022年7月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年7月期	240	217.1	181		172		213	
2021年7月期	78	92.7	132		131		128	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年7月期	160.86	
2021年7月期	103.18	

(注)潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載していません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年7月期	2,099	540	25.7	404.42
2021年7月期	2,143	566	26.4	448.15

(参考) 自己資本 2022年7月期 540百万円 2021年7月期 566百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご了承ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における経営環境は、入国制限の緩和や新型コロナウイルス感染者の療養期間の短縮等、経済活動の正常化に向けての動きが見られましたが、第5波、第6波、第7波の到来により引き続き厳しい状況が続きました。また、ウクライナ情勢や世界的な物価高騰、急激な円安、金融市場の不安定化等により、政治的情勢、経済的情勢が不安定となり、今後の見通しが立てづらい状況となっております。

そんな中、日本船に関しては、乗務員の感染等により運航を中止するという事態が何度か生じておりますが、引き続き運航を継続していくこととなっております。日本発着外国船に関しては、未だに運航が再開されておられません。ただし、海外ではほとんどの国や地域で運航が正常化しており、乗船規制の緩和も進んでいるため、当社としては、年末年始をめどに運航が再開されるものと見込んでおります。海外発着クルーズに関しては、一部の船会社において、予約状況がコロナ禍前のほぼ2倍まで増えてきているなど、新型コロナウイルスによる悪影響がほとんどない状況となっております。

このような状況のもと、当社グループでは、日本船3船、海外発着クルーズ、フェリーの販売促進強化と、国内旅行サイトの開発注力、ホテル予約サイトの事業譲受等を行ってまいりました。日本船に関しては、広告強化やお得なキャンペーンを複数回実施することで、取扱高を前年比で257.1%増、2019年比で127.5%増と大幅に伸ばすことができました。海外発着クルーズに関しては、コロナ禍ということで取扱高がほぼゼロという状態が約2年続きましたが、入国制限の緩和や船会社の乗船制限の緩和等により、徐々に予約が増えてきたため、船会社と連携して魅力的なキャンペーンを打つなど販売促進強化を行ってきました。フェリーに関しては、メインサイト「ベストワンクルーズ」内のフェリー各社の一覧ページのUI改善や広告強化により取扱高を大幅に伸ばし、前年比で1567.5%増となりました。国内旅行サイトに関しては、2021年10月にホテル・旅館予約サイト「ベストワン宿泊予約」を、2022年1月にオリジナル国内ツアー予約サイト「ベストワン国内ツアー」を、2022年7月に航空券・新幹線+ホテル・旅館を自由に組み合わせられる国内旅行予約サイト「ベストワン国内ダイナミックパッケージ」をリリースいたしました。現在は、今秋リリース予定の国内航空券予約サイトの開発を急ピッチで行っております。その他、2021年11月には、Z世代等の若者世代をメインターゲットとした後払い決済可能なホテル予約サイト「minute」と旅行・ホテル予約サイト「minute マガジン」の事業譲受を行い、これまで未開拓だったターゲット層の取り込みを図りました。

子会社のえびす旅館においても、厳しい外部環境に変わりはございませんが、徐々に改善しつつあるという状況です。季節毎のイベントに合わせた宿泊プランの設定や競合となる周辺の宿泊施設の料金動向を注意深くチェックし料金に反映させることにより稼働率向上を図ってまいりました。結果として、周辺の宿泊施設に比べ高い稼働率を維持できており、単月では減価償却前で黒字化する月も出てきている状況です。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は246,604千円（前年同期比193.8%増）、営業損失は187,308千円（前年同期は138,575千円の営業損失）、経常損失は177,332千円（前年同期は133,332千円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は218,161千円（前年同期は130,230千円の親会社株式に帰属する当期純損失）となりました。

なお、当社グループは、全セグメントの売上高合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は前連結会計年度末に比べて55,697千円減少し、2,250,871千円となりました。これは主に、旅行前払金が90,801千円増加した一方、現金及び預金が210,785千円、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が37,142千円減少したことによります。

(負債)

当連結会計年度末の負債総額は前連結会計年度末に比べて24,916千円減少し、1,720,125千円となりました。これは主に、契約負債が134,327千円増加した一方、長期借入金が209,510千円減少したことによります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は前連結会計年度末に比べて30,781千円減少し、530,746千円となりました。これは主に、新株予約権の行使により資本金が94,029千円、資本剰余金が94,029千円増加した一方、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が218,161千円減少したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における各キャッシュ・フローとその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金収支は、144,534千円の支出（前連結会計年度は136,301千円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失220,357千円、契約負債の増加134,327千円、旅行前払金の増加90,801千円、投資有価証券評価損46,484千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金収支は、53,797千円の支出（前連結会計年度は63,686千円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入24,078千円があったものの、投資有価証券の取得による支出40,000千円、固定資産の取得による支出29,569千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金収支は、8,808千円の収入（前連結会計年度は194,522千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金返済による支出278,580千円があったものの、新株予約権の行使による株式の発行による収入187,290千円、長期借入れによる収入100,000千円があったことによるものであります。

以上により当連結会計年度における現金及び現金同等物は前連結会計年度に比べて181,202千円減少し、1,390,448千円となりました。

(4) 今後の見通し

2023年7月期（通期）の連結業績予想につきましては、今後の入国制限の更なる緩和・撤廃等がどのタイミングで行われるかや、日本発着外国船の運航再開時期がいつになるかを正確に把握できない状況にあるため、現時点において合理的な業績予想を算出することが困難となっており2023年7月期の業績予想を未定とさせていただきます。今後の業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年7月31日)	当連結会計年度 (2022年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,555,512	1,344,726
旅行前払金	212,444	303,246
未収入金	34,701	58,700
未収還付法人税等	281	314
その他	19,889	48,497
流動資産合計	1,822,828	1,755,485
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	78,378	78,378
工具、器具及び備品	1,844	1,844
土地	76,651	76,651
減価償却累計額	△10,204	△13,775
有形固定資産合計	146,669	143,099
無形固定資産		
ソフトウェア	28,795	46,417
ソフトウェア仮勘定	26,631	24,065
のれん	29,546	40,297
無形固定資産合計	84,973	110,780
投資その他の資産		
投資有価証券	213,972	176,830
その他	34,270	61,043
投資その他の資産合計	248,243	237,874
固定資産合計	479,887	491,754
繰延資産		
新株予約権発行費	3,853	3,632
繰延資産合計	3,853	3,632
資産合計	2,306,569	2,250,871

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年7月31日)	当連結会計年度 (2022年7月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	279,043	309,973
未払金	7,911	25,299
未払法人税等	1,202	2,896
旅行前受金	197,337	—
契約負債	—	331,665
その他	12,221	12,450
流動負債合計	497,715	682,284
固定負債		
長期借入金	1,236,254	1,026,744
その他	11,072	11,096
固定負債合計	1,247,326	1,037,841
負債合計	1,745,042	1,720,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	302,515	396,545
資本剰余金	219,015	313,045
利益剰余金	75,211	△142,949
自己株式	△35,144	△35,144
株主資本合計	561,597	531,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,171	△2,380
その他の包括利益累計額合計	△1,171	△2,380
新株予約権	1,102	1,630
純資産合計	561,527	530,746
負債純資産合計	2,306,569	2,250,871

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)	当連結会計年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)
売上高	83,947	246,604
売上原価	49,853	206,187
売上総利益	34,094	40,417
販売費及び一般管理費	172,669	227,725
営業損失(△)	△138,575	△187,308
営業外収益		
受取利息	1,828	2,142
受取配当金	287	0
為替差益	1,508	8,320
受取補償金	2,703	—
助成金収入	7,800	11,539
その他	178	584
営業外収益合計	14,307	22,587
営業外費用		
支払利息	7,809	7,610
株式交付費償却	1,031	—
新株予約権発行費償却	110	1,421
投資有価証券償還損	—	921
投資事業組合運用損	—	2,658
その他	113	—
営業外費用合計	9,064	12,611
経常損失(△)	△133,332	△177,332
特別利益		
投資有価証券売却益	15,000	3,459
特別利益合計	15,000	3,459
特別損失		
投資有価証券評価損	—	46,484
和解金	9,272	—
特別損失合計	9,272	46,484
税金等調整前当期純損失(△)	△127,605	△220,357
法人税、住民税及び事業税	3,385	540
法人税等還付税額	—	—
法人税等調整額	△760	△2,735
法人税等合計	2,625	△2,195
当期純損失(△)	△130,230	△218,161
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△130,230	△218,161

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)	当連結会計年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)
当期純損失(△)	△130,230	△218,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,116	△1,208
その他の包括利益合計	2,116	△1,208
包括利益	△128,113	△219,369
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△128,113	△219,369
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2020年8月1日 至2021年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	292,483	208,983	205,442	△34,929	671,979	△3,288	△3,288	-	668,690
当期変動額									
新株の発行(新株予約権の行使)	10,031	10,031			20,063				20,063
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△130,230		△130,230				△130,230
自己株式の取得				△215	△215				△215
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						2,116	2,116	1,102	3,219
当期変動額合計	10,031	10,031	△130,230	△215	△110,382	2,116	2,116	1,102	△107,163
当期末残高	302,515	219,015	75,211	△35,144	561,597	△1,171	△1,171	1,102	561,527

当連結会計年度(自2021年8月1日 至2022年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	302,515	219,015	75,211	△35,144	561,597	△1,171	△1,171	1,102	561,527
当期変動額									
新株の発行(新株予約権の行使)	94,029	94,029			188,059				188,059
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△218,161		△218,161				△218,161
自己株式の取得				-	-				-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△1,208	△1,208	528	△679
当期変動額合計	94,029	94,029	△218,161	-	△30,103	△1,208	△1,208	528	△30,782
当期末残高	396,545	313,045	△142,949	△35,144	531,495	△2,380	△2,380	1,630	530,746

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)	当連結会計年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△127,605	△220,357
減価償却費	10,712	15,244
のれん償却額	2,317	2,885
投資有価証券売却損益 (△は益)	△15,000	△3,459
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	46,484
受取利息及び受取配当金	△2,115	△2,143
支払利息	7,809	7,610
為替差損益 (△は益)	△1,508	△8,320
助成金収入	△7,800	△11,539
和解金	9,272	—
旅行前受金の増減額 (△は減少)	△126,026	—
契約負債の増減額 (△は減少)	—	134,327
旅行前払金の増減額 (△は増加)	78,956	△90,801
未収入金の増減額 (△は増加)	7,441	△23,636
未払金の増減額 (△は減少)	4,058	17,388
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,323	118
その他	△8,130	△13,893
小計	△168,940	△150,091
利息及び配当金の受取額	1,349	2,054
利息の支払額	△7,809	△7,610
助成金の受取額	5,200	11,494
和解金の支払額	△9,272	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	43,171	△381
営業活動によるキャッシュ・フロー	△136,301	△144,534
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△20,587	△29,569
投資有価証券の償還による収入	—	24,078
投資有価証券の取得による支出	△73,098	△40,000
投資有価証券の売却による収入	30,000	5,329
事業譲受による支出	—	△13,636
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,686	△53,797
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	250,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△463,452	△278,580
自己株式の取得による支出	△215	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	19,984	187,290
新株予約権の発行による収入	1,181	1,298
新株予約権の発行による支出	△2,020	△1,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△194,522	8,808
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,508	8,320
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△393,001	△181,202
現金及び現金同等物の期首残高	1,964,653	1,571,651
現金及び現金同等物の期末残高	1,571,651	1,390,448

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用いたしました。収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

・他社企画旅行の売上仕入

従来は、顧客から受け取る対価の総額を収益として認識していましたが、顧客への財又はサービスの提供における役割が代理人に該当すると判断し、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識することとしています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当連結会計年度の期首の利益剰余金に与える影響はありません。

この結果、当連結会計年度の売上高は40,312千円減少し、売上原価は40,312千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「旅行前受金」は、当連結会計年度より「契約負債」に含めて表示しております。ただし、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の収束時期について、現時点で見通しを立てることは困難であります。今後徐々に回復に向かうと仮定して、当連結会計年度の会計上の見積もりを行っております。

また、当社は、雇用調整助成金等が営業費用から純額表示されており、純額処理されている雇用調整助成金等の金額は33,854千円となります。

なお、将来における実績値に基づく結果は、これらの見込み及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)

当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)

当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)	当連結会計年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)
1株当たり純資産額	449円36銭	397円11銭
1株当たり当期純損失(△)	△104円86銭	△164円70銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)	当連結会計年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)
1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△130,230	△218,161
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株主に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△130,230	△218,161
普通株式の期中平均株式数(株)	1,241,962	1,324,577

(重要な後発事象)

該当事項はありません。